

自ら学ぶ力を育てる授業の創造

Ⅲ 公開授業（2）

1	高等学校 保健体育科（体育）学習指導案	指導者	世羅晶子
日 時	平成 28 年 10 月 15 日（土） 第3限(11:40～12:30)		
場 所	グラウンド（雨天時は体育館）		
学年・組	高等学校Ⅱ年 女子 36 人(選択)		
単 元	サッカー		
目 標	1. サッカーの特性を理解するとともに、基本的な個人技術やグループ戦術を習得し、ゲームの中で活かすことができる。 2. 個人やグループの課題を的確に分析し、課題解決に向けて工夫することができる。 3. 安全に留意しながら、協力して活動することができる。		

指導計画（全 22 時間）

(1) オリエンテーション	1 時間
(2) 個人技術・個人戦術	10 時間
(3) グループ戦術	8 時間（本時 6 / 8）
(4) ゲーム	3 時間

授業について

日本の女子サッカーは 2011 年 W 杯ドイツ大会で快進撃を続けたことから、テレビ放映が急激に増え、アメリカを破り初優勝したことは、全世界を驚かせ、大きな注目を集めた。日本サッカー協会の女子選手の登録数を見ると、女子チームの登録を認めた 1979 年は 919 人であったが、L リーグが発足した 1994 年は 8,500 人、W 杯優勝後は登録数が増加し、2013 年は 30,243 人と初めて3万人を超えた。広島県においても 2012 年にアンジュヴィオレ広島という新チームが日本女子サッカーリーグに参加し、それを含めチーム登録している県内の女子サッカーチームは 34(内、高校の女子サッカーは 12 校)と増加している。このような状況から分かるように、以前のようなサッカーは男子のスポーツであるという考えは少なくなっており、男女とも授業でサッカーをする機会をつくり、その競技の特性を味わうことの意義が認められてきている。

状況が刻々と変化するサッカーのゲームでは、一人ひとりが周りを見て状況を認識し、そこでの判断や決断が必要となる。そして、次のプレーの選択肢を増やし、イメージをもつことができるような取り組みが必要となる。ゲーム場面で「何を行うべきか」を適切に判断するには、周囲の状況、ボールの位置、スペースはどこにあるのか、ゴールとの位置関係などを把握し、次のプレーを選択することとなる。

しかし、実際の授業のゲームにおいては、ボールと自分の関係だけに注目し、ボールにかたまるといった状況がよく見られる。また、パスが来たら慌てて、周りを見ず、目的がないままに蹴るという場面も多い。従って、ゲーム場面で「次に何を行うべきか」を、オープンスペースを有効利用するという観点で考えさせ、ボールにかたまらないよう、ボールを持っている人とボールを持っていない人の位置関係を把握し、チームでコミュニケーションをとりながらプレーすることを意識させたいと考えている。

これまでの授業の流れとしては、ボールタッチやトラップ、キックなどボールを操作する技術の習得を目指し、攻撃の個人戦術では、ボールを持って、自由になることができるオープンスペースを有効利用することを狙いとして、ドリブルで抜くか、パスをするかの状況判断を求めていった。個人技術・個人戦術に課題はあるが、次にグループ戦術に主眼をおき、攻撃において数的優位やオープンスペースを有効利用することに着目し、目的をもってプレーすることを目指している。グループ戦術をはっきりさせることによって、ゲーム

を評価する観点が明確になり、チームの課題を把握しやすくなると考える。その手立てとして他チームによるゲームの観察記録を行う。1つは、ボールの動きを記録し、もう1つはパスがチーム内でまわっているかを記録し、ゲームの様相やプレーへの関わり方を分析することで、課題を明らかにし解決に向けて次につなげたいと考えている。

本時の目標

1. 攻撃においてのグループ戦術を学び、自分と相手との関係を考えながら、自由になる空間を見つけシュートまでもっていくことができる。
2. 課題に対して、気づきや発見を共有し合い、協力して活動することができる。
3. ゲームにおいて、グループ戦術を活かし、目的をもってプレーすることができる。

本時の評価規準（観点／方法）

1. 攻撃においてのグループ戦術を学び、自分と相手との関係を考えながら、自由になる空間を見つけシュートまでもっていくことができる。
(運動の技能／活動観察)
2. 課題に対して、グループで気づきや発見を共有し合い、協力して活動することができる。
(思考・判断／活動観察・ワークシート)

学習過程

指導過程	学習活動	指導上の留意点
<導入> 出欠点呼 本時の説明 準備運動	<input type="checkbox"/> 集合 <input type="checkbox"/> 本時の学習内容を把握し、課題を確認する <input type="checkbox"/> 準備運動	<ul style="list-style-type: none"> ・健康観察・見学生徒への指導 ・課題の確認ができているか。
<展開> 課題の確認 グループごとに分かれての活動 ゲームの観察記録 まとめのゲーム	<input type="checkbox"/> グループ戦術の課題の確認を行う <input type="checkbox"/> 課題解決のためのグループ活動・グループ戦術 <input type="checkbox"/> 他チームによるゲームの観察記録から自チームのプレーを分析する <input type="checkbox"/> ゲームを行う	<ul style="list-style-type: none"> ・課題化しようとしているか。 ・オープンスペースを有効的に利用しようとしているか。 ・ゲームにおいてグループ戦術を意識してプレーをしているか。 ・正確に記録をしているか。 ・記録をもとにチームで分析ができているか。 ・分析したことをゲームに活かしているか。
<まとめ> 学習のまとめ 次時の課題の確認 片づけ	<input type="checkbox"/> 本時の学習を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・グループの課題がどの程度解決されゲームに活かされたか。 <input type="checkbox"/> 次時の課題を確認する <input type="checkbox"/> 片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきを共有できているか。 ・本時の目標を達成し、次時のめあてをもつことができたか。

準備物 サッカーボール ゴール ビブス

2 資料

<2016年度高IIサッカーアンケート>

今年度サッカーを選択した高II女子36名の生徒に調査を行い、サッカーについてどのような捉え方をしているかを次の表に示した。なお、この調査は9時間目の雨天時に行ったものである。

表 [サッカーの授業をするにあたって]

○サッカーを選択した理由は何ですか？	
・屋外で走りまわるのが好きだから	9
・第一希望の競技がいっぱいだったから	7
・サッカーが好きだから	6
・一番楽しそうだったから	6
・たくさん動けて楽しいから	4
・メンバーが良さそうだったから	4
・女子だけでできるから	4
・高Iの時のサッカーがとても楽しかったから	2
・疲れるけど他のスポーツより達成感があるから	1
・みんなでグループ競技をしたかったから	1
・女子だけのゲームが楽しいから	1
・実力差があまりないから	1
・上手くなりたかったから	1
・痩せそうだったから	1
・好きなサッカー選手がいるから	1
・幼なじみがやっているから	1
・弟がサッカーをやっているから	1
・長い期間でちゃんとした試合ができるようになりたかったから	1
・テレビで見るサッカーが本当にかっこいいから	1
○サッカーの魅力とは？	
・みんなで走りまわるのが楽しい	6
・足でボールをコントロールするところ（難易度が高い）	6
・みんなで協力してボールをゴールに入れるという過程が面白い	5
・シュートがきまったときの喜び・快感	5
・楽しい	5
・チームプレーなところ	3
・ずっと走っている（から痩せそう）	3
・ボールを追いかけるのが楽しい	2
・知らない人と仲良くできる	2
・それなりの場所と人とボールがあればできる	2
・ボールに夢中になれる	1
・難しいパスが通ったときの気持ちよさと団結感	1

・やる気があれば楽しむことができる（下手でも）	1
・みんなで勝利をつかみとる	1
・コートが広く、様々なプレーができること	1
・体をぶつけ合うところ	1
・接触プレーでボールを奪いあうところ	1
・ディフェンスやオフェンスなど役割を分けられるのもよい	1
・守りと攻めがくるくる変わること	1
・ポジションが決まっていない	1
・脇役ができない	1
・いつゴールがきまるか分からないところ	1
・足しか使えないから技がかっこいい	1
・体全体（手以外）を使えるところ	1
・足を使ってボールを操作するから、たまに予想外の動きが起こること	1
・かっこいい	1
・運動神経悪くても、立っているだけ邪魔できることもある	1
・強い人を邪魔するのが結構楽しい	1
・休憩が少ないから見ていて面白い	1
・大勢でプレーできること	1
・ルールがわりと簡単	1
・チームプレーでありながら、個人プレーも楽しめるところ	1
・軽やかなボールさばき	1
・細かい技も大胆な技もあること	1
・ちゃんと時間が決まっているところ	1
・なかなか点が決まらないから1点1点の価値が大きい	1
・11人で協力しないといけないところ	1
・ボールを上手く蹴れた時の音	1
・ボールの柄がかっこいい	1

○サッカーをしてみて難しいなと思うことは何ですか？

・ボールのコントロール（思ったところにパス・シュートできない）	20
・空振りしてしまう	4
・ドリブル	4
・途中で息が切れてしまう（体力がもたない）	3
・手が使えないこと	3
・シュートが決まらないこと	3
・足を使うのは、手を使うよりかなり難しい	2
・パスがなかなか通らない	2
・足が思うように動かない	2
・左足を使うこと	2
・人をおかすこと・相手を抜けない	2
・足とボールの距離感がつかめない	2
・頭の中でのイメージと実際が違うから	2
・人がいるところまで飛ばない	2

- ・ゲームに入ってしまうと、授業でやったいろいろなやり方をすぐに忘れる・・・ 2
- ・相手チームにすぐボールを取られる・・・ 2
- ・ゴール前に人がいすぎてシュートが決まらないこと・・・ 2
- ・自分が蹴ったボールに追いつかない・・・ 2
- ・前にボールをまっすぐ蹴られない・・・ 1
- ・ボールをトラップして蹴ること・・・ 1
- ・走りながらまわりを見ること・・・ 1
- ・周りをしっかり見て動かないといけなところ・・・ 1
- ・こけそうになる・・・ 1
- ・ボールを足で扱うこと（手が使えない）・・・ 1
- ・テクニックを身につけるのに時間がかかるため、すぐに実戦に生かせない・・・ 1
- ・足を蹴られる・・・ 1
- ・蹴ろうと思ってボールばかり見ていたら相手が（味方も）どこにいるか分からなくなる・・・ 1
- ・パスを取りにいくのが難しいこと・・・ 1
- ・力の入れ方が分からない・・・ 1
- ・2・3人を相手にしてしまったら絶対突破できないこと・・・ 1
- ・ディフェンス・・・ 1

○こんなプレーをしてみたい！！というものはどんなプレーですか？

- ・ドリブルで相手を抜くこと・・・ 8
- ・ロングシュート・ロングキック・・・ 4
- ・とられないようにドリブルをしてシュート・・・ 3
- ・ヘディング・ヘディングシュート・・・ 3
- ・1回でもきれいなシュートを決めてみたい・・・ 3
- ・メッシやネイマールのような足さばきをしたい・・・ 3
- ・オーバーヘッドシュート・・・ 2
- ・自分でちゃんとボールをキープしてパスしたり、シュートしたりすること・・・ 2
- ・プロサッカー選手のような華麗なプレー・・・ 2
- ・ハットトリック・・・ 2
- ・ボレーシュート・・・ 1
- ・股抜き・・・ 1
- ・思った方向に蹴りたい・・・ 1
- ・チーム内でタイミングよく効果的なパスをする・・・ 1
- ・みんなで試合を楽しめるサッカー・・・ 1
- ・フェイク・・・ 1
- ・ちょっとした技・・・ 1
- ・徹底的に邪魔して、ボールを奪いたい・・・ 1
- ・相手のゴールを防ぎたい・・・ 1
- ・連係プレー・・・ 1
- ・上手くパスが回せたらいいと思う・・・ 1
- ・ボールを高く遠くに飛ばしたい・・・ 1
- ・ラインをつくって、本物に近いサッカー・・・ 1
- ・フォワードやミッドフィルダーなど役を持ちながらプレーする・・・ 1

- ・相手の頭上にボールをあげて敵をかかわすプレー 1
- ・ナイスアシストをしてみたい 1
- ・オフサイドとりたい 1
- ・3人対3人の精鋭プレー 1
- ・ボールがきれいな動きをする 1

○女子サッカーのイメージをあげてみてください。

- ・澤さん 14
- ・なでしこジャパン 11
- ・かっこいい 7
- ・W杯で優勝した 4
- ・サッカーをしている人が少ない 3
- ・最近、メジャーになってきて、選手や大会などにも注目が集まってきているが、男子に比べるとまだ競技環境が整っていないイメージ。
 (サッカーだけでは、食べられないため、他の仕事をする等) 3
- ・川澄さん 2
- ・そこまでメジャーでない気がする 2
- ・世界と戦うことができる技術がある 1
- ・W杯は本当にかっこよかった 1
- ・アンジュヴィオレ 1
- ・強い 1
- ・頭がよい 1
- ・激しい 1
- ・ブラジル 1
- ・筋肉 1
- ・神戸が強い 1
- ・知名度が上がった 1
- ・市電でも時々車内にポスターが貼ってある 1
- ・女子なのにすごい 1
- ・頭にゴムをはめている 1
- ・みんな日に焼けている 1
- ・男らしい 1
- ・髪を短くしてかっこいい 1
- ・身長差がすごい 1
- ・和気あいあいとみんなで協力しあってできるスポーツ 1
- ・女性の情熱やチームプレーは男子サッカーとは違う魅力があり、同性としてより感情移入をしやすいイメージがある 1
- ・佐々木監督 1
- ・強い 1
- ・競技人口少なさそう。
 5つ学校があれば、1人は女子でサッカーしている人はいそうですね 1
- ・あんまり部がない 1
- ・大学でも女子サッカー部があるところは少ない 1

・ちょっとマイナーで、男子よりも人気劣る気がする	1
・女子のリーグの知名度が低い	1
・これまでマスコミにあまり取り上げられてなかった	1
・女子サッカーはお金が足りないようなイメージがあった	1
・サッカーをやっている人も観る人も少ない?	1
・ずっと楽しく続ける環境が少ない	1
・女子がサッカーをする場所がない(野球もないから困る)	1
・競技人口が増えてきて、リーグの試合の様子をよくテレビで見るようになった	1
・オリンピックに出られなかった	1
・澤さんが引退して弱くなった	1
・主力が抜けたら、すぐ力が落ちそうな危うさがある	1
・世界規模でないと人気が少ない	1

3 反省と課題

【授業者】アンケートからもわかるように、サッカーの魅力として生徒たちは「思い切り動き回ることができる」「チームプレーができる」「みんなで協力してゴールをねらうのが楽しそう」等を挙げている。一方、難しいところとして「ボールのコントロール、しっかり止めてねらったところに蹴ること」「周りを見ること」「イメージは分かっても実践できない」を挙げている。だからこそ「関係プレーでパスを回してゴールしたい」という欲求を強くもっている。そこで攻撃における数的優位とオープンスペースの有効利用というグループ戦術に主眼を置き、自分やチームの課題を発見、共有してその解決方法を工夫させていくこととした。初めのうちは団子状態のゲーム様相が縦長のゲーム様相に変わり、「縦パスばかり」「横のつながりがない」ことに気づき、「サイドを使おう」「広がろう」というねらいの共有が生まれたが、どのように使ったらよいのかという解決方法は見いだせなかったのでサイドにラインを引いてゲームをすることとした(コートサイズは縦40m×横30m。タッチラインの内側5mにサイドのライン)。

課題発見のためにゲーム中のボールと人の動き、軌跡を「ゲーム観察記録」に記録してもらくと、自分たちはパスを回しているつもりであったが「ボールが来ないゾーンがある」「パスが回っていない人がいる」「周りを見てパスしているのではなく、やみくもに蹴っているだけだった」等に気づき、それを「何とか解決したい」「パスをつなごうという意識づけをしよう」という共有ができた。しかし、それらを解決するために何をどうしたらいいかという解決方法には至っておらず、問題解決につなげていく授業づくりの工夫が今後の課題である。

【参観者】自分やチームの状況把握によって共有された「ねらいのあるパスをつなげるようにしたい」という課題に対して、3対1や3対2からシュートへという学習活動をボール保持者へのプレッシャーを弱めるという条件付けをしてタイミングよく与えることでゴール前に引いて守る相手に対してボール保持者、非保持者がそれぞれどう動いてどう攻めたらよいかという工夫が生まれており、よい学習支援につながっているとの評価をいただいた。

【参観者】サッカーではボールの移動中にいつ誰が何をどのように見ていたかが大事であるが、それを自分たちで考えながらプレーを選択しようとしていたのは客観的記録を基に分析して実践しようとした、まさにアクティブ・ラーニングであったとの評価をいただいた。

【参観者】「ボールを止めるととられてしまうので自分の所に来たら慌ててすぐに蹴ってしまう」という課題に対して1対1のボールキープをウォーミングアップとして毎回行うことで相手から遠いところにボールを置くスクリーニングやボールをトラップする位置の改善につながったという事例紹介による助言をいただいた。

【参観者】「サイドを使おう」というねらいに対応してサイドにラインを引いてゲームをするように変化させてい

るが、サイドプレイヤーを配置するとそこを起点としてボールが動くようになって攻撃の広がりについて理解しやすくなるのではないかと、そうすることでポジションの概念にもつながるのではないだろうかという指摘をいただいた。

【参観者】最終的に広いコートでゲームをさせたいということであったが人と人の距離が開き、動く範囲も広くなりすぎて生徒の実態からすると学習課題がぼやけ、さらに「しんどい」「難しくてできない」につながってしまう恐れがある。現在のコートサイズ、人数でたくさんの学習課題が出てきていることを考えても適正規模ではないだろうかという助言をいただいた。

4 授業風景









